

施策評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 施策の名称・めざす姿

施 策 名	029		環境に配慮した活動の促進				
総 合 計 画	基本目標	Ⅱ	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主 担 当 部 課 名	生活環境部 環境政策課
	基本施策	03	生活環境の保全				
め ざ す 姿	環境保全に関する適切な情報の提供や交流を行うことにより、市民一人ひとりが環境に対して高い意識を持ち、積極的に環境に配慮した行動を実践しています。また、地球温暖化を防止し地球環境を保全するため、エネルギー消費や環境負荷を低減する活動を実施し、環境にやさしい生活を送っています。						

2 事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	50,046,000	36,206,000	37,139,000	36,712,000	31,575,000	29,569,000
国庫支出金	10,030,000	7,645,000	982,000	52,000	35,000	28,000
都支出金	90,000	90,000	131,000	131,000	131,000	131,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	8,075,000	1,891,000	1,891,000	1,391,000	1,391,000	5,819,000
一般財源	31,851,000	26,580,000	34,135,000	35,138,000	30,018,000	23,591,000
予算現額	50,019,000	36,116,000	37,139,000	36,745,000	38,904,000	0
決算額	39,318,897	30,642,899	32,952,415	29,701,707	33,251,238	0
国庫支出金	2,141,000	5,673,000	1,382,000	17,000	21,000	0
都支出金	2,322,750	24,166	2,402,123	58,758	7,173,947	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	6,083,000	1,891,000	1,892,000	1,359,000	1,358,000	0
一般財源	28,772,147	23,054,733	27,276,292	28,266,949	24,698,291	0
執行率	78.6	84.8	88.7	80.8	85.5	0.0
（人件費）						
職員数	4.72	4.46	4.55	5.07	5.47	0.00
職員人件費	37,755,946	33,957,347	35,450,156	39,507,990	42,018,483	0
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	0
（間接経費）						
間接経費	489,977	360,175	392,324	375,692	402,148	0
総コスト	77,564,820	64,960,421	68,794,895	69,585,389	75,671,869	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移					H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
① 二酸化炭素排出量	917.5	実績	1,156	1,145	1,085	1,024	825.1
	1000t-CO2	達成率	140.1	138.8	131.5	124.1	
② 環境学習講座の実施回数	10	実績	10	8	12	11	10
	回	達成率	100.0	80.0	120.0	110.0	
③ 小学校・中学校への雨水浸透施設及び貯留施設の設置数	4	実績	7	7	7	7	7
	校	達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析
指標①について、エネルギー消費量、二酸化炭素排出量ともに減少はしているが、目標達成に向けては、更なる取組が必要である。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい
達成できている点	・エネルギー消費量の削減 ・市民への環境学習機会の提供及び環境行動の啓発	・エネルギー消費量の削減 ・市民への環境学習機会の提供及び環境行動の啓発 ・職員による環境負荷低減行動の促進 ・カーボンオフセット事業に係る協定の締結	・エネルギー消費量の削減 ・市民への環境学習機会の提供及び環境行動の啓発 ・職員による環境負荷低減行動の促進	・エネルギー消費量の削減 ・市民への環境学習機会の提供及び環境行動の啓発 ・職員による環境負荷低減行動の促進 ・自立型ソーラースタンドの設置
達成できていない点	・排出係数の増加に伴う二酸化炭素排出量の増加 ・環境に係るリーダーの育成	・排出係数の増加に伴う二酸化炭素排出量の増加 ・環境に係るリーダーの育成	・二酸化炭素排出量の更なる削減 ・二酸化炭素排出量削減に向けた取組の面的展開 ・環境に係るリーダーの育成	・二酸化炭素排出量の更なる削減 ・二酸化炭素排出量削減に向けた取組の面的展開 ・環境に係るリーダーの育成

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

府中市職員エコ・アクションプラン及びISO14001の適正運用を行い、環境負荷低減に努めた。姉妹都市長野県佐久穂町と、平成23年7月に「府中市と佐久穂町との地球環境保全のための連携に関する協定」を締結し、カーボンオフセットを実施している。実施にあたっては、長野県「森の里親促進事業」の趣旨に則り、二酸化炭素の吸収量を増加させるとともに、住民相互が自然に親しみ体験する機会を確保した。事業継続のため、第2期協定を締結した。平成17年度から、地球温暖化防止対策の一環として、再生可能エネルギーの導入促進及び省エネルギーを推進するため、環境に配慮した住宅設備の設置に要する費用の一部を助成している。平成29年度までの累計で、約3,026,778tの二酸化炭素削減が見込まれている。啓発事業として、平成18年度から「環境フェスタ」を開催し、その後、他の事業との共同開催や新規イベントを開催し、拡充を図った。平成24年度からは「環境フェスタ」「グリーンフェスティバル」「リサイクルフェスタ」を統合した、「府中環境まつり」を開催した。平成23年12月1日に環境保全活動センターを開設した。運営にあたってはサポーター及びサポーターから選出した運営委員の協力を得ながら、会報、HP等により情報を発信した。平成24年度から、企業・市民の協力を得て「クール・エコの集い」を開催するなど、活動の拡大を図った。平成13年度から環境学習講座を実施するほか、NPO団体や東京農工大学への委託による環境調査を実施し、結果を「府中の環境」で公表した。平成25年度より府中市専用水道等の事務委託に関する規約に基づいて、専用水道等の管理及び執行を東京都に委託している。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

平成29年度で、ISO14001の認証を終了し、外部審査に依らずISO14001の規格を満たしていることを自ら宣言する「自己適合宣言」を行った。今後、環境マネジメントシステムの質を低下させずに、監査の一部を外部委託等を行いながら法令遵守及び徹底、また環境監査の実効性を高めていく必要がある。

今後の展開

エコハウス設備設置補助金の申請（及び交付）件数減少が見受けられるため、時代に即した当事業のあり方を検討していく。環境保全活動センターの更なる広報活動を行い、市民・事業者への周知を図り、来訪者の増加を目指す。また、環境保全活動センターサポーターとの連携を図り、環境保全に関する相談対応等の連絡体制を確立させる必要がある。環境学習講座の周知方法等に工夫をし、市民の参加者を増加させる必要がある。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4 か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
環境マネジメントシステム運営事業	法令・都条例に基づく届出。	法令・都条例に基づく届出。 第4次府中市職員エコ・アクションプラン及びISO14001（2015）に沿った新たなEMSの策定。	法令・都条例に基づく届出。 エコ・アクションプランに基づくエネルギー削減。 ISO14001更新審査の受審。	法令・都条例に基づく届出。 エコ・アクションプランに基づくエネルギー削減。管理標準作成に向けたモデルの作成。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	生活環境部 環境政策課	生活環境部 環境政策課	生活環境部 環境政策課	生活環境部 環境政策課
事業種別	法令・都条例に基づき、期限内の届出を行った。新たなエコ・アクションプラン等の策定に向け、予算措置を図った。	法令・都条例に基づき、期限内の届出を行った。第4次府中市職員エコ・アクションプランの策定、ISO14001（2015）に沿ったEMSの改定、EMS文書の職員向け簡易版「府中市エコ・ハンドブック」の作成を行った。	法令・都条例に基づき、期限内の届出を行った。省エネ法において、Sランクの評価を得た。ISO14001（2015）に沿ったEMSにより更新審査を受審し、認証を継続した。	法令・都条例に基づき、期限内の届出を行った。ISO14001規格の認証を終了し、外部審査に依らずに同規格を満たしていることを自ら宣言する「自己適合宣言」を行った。また、環境監査の一部を外部委託等を行い、環境法令の遵守及び徹底に努めた。
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)	24,372			
環境啓発事業の実施。	環境啓発事業の実施。	環境啓発事業の実施。	環境啓発事業の実施。 環境保全活動センター担当を中心としたセンター機能拡充方針の検討。	環境啓発事業の実施。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調
所管部署	生活環境部 環境政策課	生活環境部 環境政策課	生活環境部 環境政策課	生活環境部 環境政策課
事業種別	天候による中止もあったが、計画通りの事業実施が図れた。中止事業については、迅速な中止対応の体制を整え、混乱防止に努めた。	環境まつり2015を開催し、新たな取組として模擬店においてリユース食器を使用した。	概ね計画どおり事業実施が図れた。また、環境保全活動センターの適切な移転先及びその運営内容の見直しなどの検討を開始した。	概ね計画どおり事業実施が図れた。また、環境保全活動センターの適切な移転先及びその運営内容の見直しなどの検討を行なった。
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)	23,156			
カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。 佐久穂町との協定継続に向けた間伐方針の決定。	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。 佐久穂町との協定継続に向けた間伐方針の決定。	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。 新たな協定に基づく事業の実施。	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。 森林計画策定の検討。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	生活環境部 環境政策課	生活環境部 環境政策課	生活環境部 環境政策課	生活環境部 環境政策課
事業種別	カーボンオフセット事業については、計画に基づく施策が出来ている。森林間伐体験事業については、佐久穂町、委託先の協力により、参加者から高い評価を得ている。	事業実施の基礎となる佐久穂町、長野県との第2期協定を締結した。	計画に基づく施策が出来ている。森林整備の方法等について佐久穂町、長野県との協議を進めている。	佐久穂町が定めた森林整備計画に基づき施策ができています。また、今後の森林整備の方法等について佐久穂町、長野県と協議を進め、方向性を定めた。
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)	95,412			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名		事業 種別	人件 費 事業	H29年度		H30年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
				当初予算額	決算額				
1	環境審議会運営事業	20		660,000	407,000	660,000	環境施策について、審議会を開催し、審議する。	B	1
2	環境マネジメントシステム運営事業	20		1,604,000	1,662,336	6,032,000	環境マネジメントシステムの運営	B	1
3	環境保全活動事業	20		4,775,000	4,540,638	5,170,000	環境保全活動センターを中心とし、市民・事業者・行政が一体となった環境啓発事業を実施する	A	
4	地球温暖化対策事業	20		19,131,000	22,315,892	13,616,000	府中市地球温暖化対策地域推進計画の推進、環境に配慮した住宅設備の設置の助成	A	
5	専用水道等衛生対策事業	10		5,405,000	4,325,372	4,091,000	専用水道等の衛生管理の事務事業	B	1
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合 計				31,575,000	33,251,238	29,569,000			

施策評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 施策の名称・めざす姿

施 策 名	030		まちの環境美化の推進			
総 合 計 画	基本目標	Ⅱ	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）		主 担 当 部 課 名	生活環境部 環境政策課
	基本施策	03	生活環境の保全			
め ざ す 姿	市民と市が協力し、まちの美化推進を行うことで、全ての市民がごみやたばこのポイ捨て、路上喫煙、ペットのふんの放置をしないなど、高い美化意識を持ち、美しく快適な環境を維持しています。					

2 事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当 初 予 算 額	19,373,000	19,500,000	20,160,000	20,459,000	26,125,000	24,395,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	2,829,000	2,874,000	2,659,000	2,440,000	5,937,000	3,214,000
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	16,544,000	16,626,000	17,501,000	18,019,000	20,188,000	21,181,000
予 算 現 額	19,473,000	19,500,000	20,169,000	20,425,000	26,165,000	0
決 算 額	17,969,436	17,421,151	19,191,441	19,336,116	23,002,013	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	2,831,413	2,662,617	2,746,350	2,680,832	4,968,278	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	15,138,023	14,758,534	16,445,091	16,655,284	18,033,735	0
執 行 率	92.3	89.3	95.2	94.7	87.9	0.0
（人件費）						
職 員 数	4.53	5.90	5.77	6.76	5.76	0.00
職 員 人 件 費	36,232,068	44,921,155	44,955,472	52,677,320	44,246,154	0
嘱 託 員 数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	0	0
（間接経費）						
間 接 経 費	431,977	465,593	491,500	494,894	418,419	0
総 コ ス ト	54,633,481	62,807,899	64,638,413	72,508,330	67,666,586	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
① 周辺の美化清掃を実施した駅数	3	実 績	3	3	3	3	5
	駅	達成率	60.0	60.0	60.0	60.0	
② 自主的な清掃活動への参加者数	70	実 績	104	126	157	140	77
	団体	達成率	135.1	163.6	203.9	181.8	
③ 美化活動における府中駅周辺のごみ回収量	52.8	実 績	12.39	11.35	8.68	9.49	39.6
	kg/回	達成率	319.6	348.9	456.2	417.3	
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					

指標の分析
【指標1】平成29年度における実績値5を目標としており、市民協働の手法を活用し、様々な形で清掃活動を行っている。 【指標2】他の類似制度もあり、本数値のみでの評価は難しいが、毎年順調に実績を残している。 【指標3】あくまで趣旨は美化意識の向上であり、ごみ回収量の減少を目指すものであるが、平成28年度は基準値以上の回収量となった。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている
達成できている点	市民との協働による駅周辺の清掃活動を3駅で実施、することにより自主清掃活動の支援を行うことで、ごみやたばこのポイ捨ての禁止、喫煙禁止路線の周知、喫煙のマナーアップ等に取り組む、美化意識の向上を図ることができた。	各種清掃活動の支援、委託業者によるパトロールの実施等により、市民の環境美化意識の向上を図ることができた。また空き家対策について、法に基づく体制整備を進め、平成28年度の協議会設置に向けた準備を完了した。	空き家対策について、専門的知見を有する方を委員とする協議会を設置し、本市対策に係る審議を行った。また飼い主のいない猫対策について、対策の方向性をまとめたガイドラインを作成・公表した。これにより、ボランティアと考え方を共有した円滑な連携を図る体制が整った。	空き家対策について、専門的知見を有する委員で構成される協議会において、本市の空き家対策に係る審議を行い、「空き家等対策計画」を策定した。
達成できていない点	空き家対策について、従来からの指導は継続していくとともに、加えて「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく体制整備を進める必要がある。また飼い主のいない猫が引き続き課題となっている地域があるため、繁殖を防止するための対策を検討していく。	飼い主のいない猫対策について、地域・ボランティア団体・行政の役割の明確化が未達成。ガイドライン（仮称）の作成等、市としての方向性を固め、その周知啓発を進めていく。	各種清掃活動の支援、委託業者によるパトロールの実施等により、市民の環境美化意識の向上を図ることができている一方、依然市民からの苦情・相談が寄せられる現実がある。指導・啓発を行う地域の選択と集中を進めるなど、一層のマナー向上の啓発を行う必要がある。	啓発等により市民の環境美化意識の向上を図ることができている一方、依然市民からの苦情・相談が寄せられている。今後は、指導・啓発を行う地域の選択と集中を進めるなどの対策を含め、一層のマナー向上の啓発を行う必要がある。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果 ■「府中市まちの環境美化条例」で指定された【環境美化推進地区】を中心として、協定を締結した自治会、商店会、事業所などと協働で、定期的な美化活動および啓発活動を行うとともに、【喫煙禁止路線】における路上喫煙のパトロールや、地域の団体等による自主清掃の支援を実施し、まちの環境美化に努めている。 ■市民の安全で快適な生活環境確保のため、空き地・空き家対策、害虫・害獣対策を進めている。空き家対策においては、平成23年度に空き家調査を実施し、市内の荒廃した空き家を把握、同調査結果を踏まえた管理者指導を進め解決を図っているほか、根拠法に基づく体制整備を進め、平成28年度には附属機関を設置、平成29年度に対策計画を策定した。害虫・害獣対策においては、スズメバチの巣の駆除支援、害虫の自主駆除の支援のために器具の貸出し・駆除方法の指導、東京都と連携してアライグマ・ハクビシン対策等を行っている。 ■飼い主のいない猫の繁殖を抑制するため、登録している活動団体に去勢・不妊手術費の助成を行っているほか、平成28年度に『府中市「飼い主のいない猫」対策ガイドライン』を策定し、市・ボランティア・地域が同じ方向性で対策に取り組むための体制整備を行った。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化 ■路上へのポイ捨て行為、ペットのふん尿放置等はまだまだ多く、いかに市民個々の環境美化意識向上を図るか、現在の事業と平行しながら、新たな啓発方法を考えていかなければならない。 ■飼い主のいない猫対策について、周知啓発による市民の理解の深化が求められている。 ■管理されていない空き家の苦情相談が寄せられている。日々の改善指導のほか、問題の抜本的解決を図るため、法令・例規の定めに基づいて整備された体制（平成29年度に計画策定）により、体系的に整理された形で対策に取り組む必要がある。
今後の展開 ■環境美化の推進は、市民が主体となって積極的に関わっていくという意識を定着させていくために、効果的な事業実施と啓発を促進させていく。指導や啓発を行う地域の選択・集中を進めるなどの対策を講じていく。【環境美化推進地区】においては、美化協定締結団体と協力員の拡大を図り、協働による美化活動の輪を広げていく。【喫煙禁止路線】においては、路上喫煙パトロールについて、より効果的になるよう実施時間帯を改善していく。 ■生活形態の多様化により、害虫駆除等の相談内容も多様化してきており、適切な対応に必要な知識の取得も積極的に行っていく。加えて住環境におけるハクビシンの対策について、関係団体等と連携し対応していく。 ■平成23年度に実施した空き家調査の結果を活用し、引き続き空き家対策を行っていく。また、法令・例規に基づき整備された市の体制により、対策の方向性の明確化を図る。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4 か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
環境美化推進事業	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。 「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成29年度までに、全5駅での実施を目標とする。	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。 「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成29年度までに、全5駅での実施を目標とする。	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。 「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成29年度までに、全5駅での実施を目標とする。	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。 「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成29年度までに、全5駅での実施を目標とする。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」の計3駅において美化清掃活動を実施。その他、自主清掃活動の支援等を通じ、市民のまちの環境美化意識の向上を図ることができた。	「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」の計3駅において美化清掃活動を実施。その他、自主清掃活動の支援等を通じ、引き続き、市民のまちの環境美化意識の向上を図ることができた。	「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」の計3駅において美化清掃活動を実施。その他、駅近隣大型商業施設への清掃活動参加の促しや、自主清掃活動の支援等を通じ、引き続き、市民のまちの環境美化意識の向上を図ることができた。	「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」の計3駅において美化清掃活動を実施。その他、自主清掃活動の支援等を通じ、引き続き、市民のまちの環境美化意識の向上を図ることができた。
事業種別	主要な事務事業			
4 か年事業費計(単位:千円)	39,180			
空き家・空き地等対策事業	平成23年度に実施した全戸調査、また、その後の市民からの相談等で把握した荒廃した空き家について、その改善に向けた所有者への指導を実施する。	・継続して荒廃した空き家所有者への改善指導を実施する。 ・平成27年度中に全面施行された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく体制整備を進める。	・継続して荒廃した空き家所有者への改善指導を実施する。 ・平成27年度中に全面施行された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく体制整備を進める。	・継続して荒廃した空き家所有者への改善指導を実施する。 ・平成27年度中に全面施行された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく体制整備を進める。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の全面施行を見据えた、庁内連携体制の整備を行った。このことで、平成27年度以降の同法に基づく体制整備について、庁内の協力体制を構築することができた。	日々の改善指導を継続的にを行い市民の管理意識向上を図るとともに、法に基づく協議会設置の準備を完了することができた。引き続きの庁内連携を図り、本市の特性に応じた、全庁的な対策を可能とする体制整備を進める。	日々の改善指導を継続的にを行い市民の管理意識向上を図るとともに、専門的知見をもつ方を委員とする協議会、庁内連携を図るための検討委員会をそれぞれ運用し、本市空き家対策の計画的な実行を実現する体制を整えることができた。	日々の改善指導を継続的にを行い市民の管理意識向上を図るとともに、専門的知見を有する委員で構成する協議会において、空き家対策計画を策定し、「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく体制整備を進めた。
事業種別	主要な事務事業			
4 か年事業費計(単位:千円)	212			
市民清掃活動事業	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。
【進捗状況】	目標以上に進んでいる	【進捗状況】 目標以上に進んでいる	【進捗状況】 目標以上に進んでいる	【進捗状況】 目標以上に進んでいる
所管部署	地域、企業等との連携により、毎年の定例的な事業として市民に定着しており、多くの参加を得ることができた。ごみの回収はもちろん、参加することで、多くの市民が、まちの環境美化について意識することにつながっている。	地域、企業等との連携により、毎年の定例的な事業として市民に定着しており、多くの参加を得ることができた。ごみの回収はもちろん、参加することで、多くの市民が、まちの環境美化について意識することにつながっている。	地域、企業等との連携により、毎年の定例的な事業として市民に定着しており、多くの参加を得ることができた。ごみの回収はもちろん、参加することで、多くの市民が、まちの環境美化について意識することにつながっている。	地域、企業等との連携により、毎年の定例的な事業として市民に定着しており、多くの参加を得ることができた。ごみの回収はもちろん、参加することで、多くの市民が、まちの環境美化について意識することにつながっている。
事業種別	主要な事務事業			
4 か年事業費計(単位:千円)	7,212			

※4 か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名		事業種別	人件費事業	H29年度		H30年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
				当初予算額	決算額				
1	環境美化推進事業	30		10,464,000	10,329,561	10,157,000	市民と事業者との連携協働により、美化活動推進と美化意識の啓発を行う。	B	1
2	害虫等駆除対策事業	30		1,861,000	1,828,332	1,768,000	危険害虫及び不快環境獣等の駆除・捕獲などによる市民の安全な生活環境保全事業	B	1
3	空き家・空き地等対策事業	20		6,239,000	3,956,822	534,000	空き地及び空き家の適正管理を指導し、周辺地域住民の生活環境の悪化を防止する。	B	1
4	市民清掃活動事業	30		960,000	923,175	932,000	市民・事業者により多摩川河川敷を一斉に清掃する。	B	1
5	環境衛生普及対策事業	30		228,000	106,747	211,000	緊急発生した衛生害虫駆除等による快適な生活環境の確保	B	1
6	飼い主のいない猫対策事業	30		3,139,000	2,871,273	2,942,000	飼い主のいない猫の増加及び被害防止のため、地域ぐるみで実施する対策活動の啓発と支援。	B	1
7	公衆トイレ維持管理事業	30		3,234,000	2,986,103	7,851,000	南部線西府駅北公衆トイレの建設及び維持管理に関する事	B	1
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合 計				26,125,000	23,002,013	24,395,000			

施策評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 施策の名称・めざす姿

施 策 名	031	公害対策の推進					
総 合 計 画	基本目標	Ⅱ	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主 担 当 部 課 名	生活環境部 環境政策課
	基本施策	03	生活環境の保全				
め ざ す 姿	騒音、振動、悪臭、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、地盤沈下を中心としたいわゆる典型7公害の監視体制が継続されており、事業者に対し指導、助言等を行うことにより公害の発生が未然に防止されています。また、市民、事業者が積極的に環境活動に取り組み、快適に過ごせる環境が保全されています。						

2 事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当 初 予 算 額	25,396,000	21,204,000	22,668,000	28,270,000	19,545,000	18,443,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	4,382,000	4,064,000	4,134,000	4,242,000	4,296,000	3,472,000
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	21,014,000	17,140,000	18,534,000	24,028,000	15,249,000	14,971,000
予 算 現 額	25,423,000	21,424,000	22,668,000	28,236,000	19,485,000	0
決 算 額	21,859,430	18,449,891	19,577,865	21,752,800	18,103,930	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	4,133,874	4,241,622	4,294,906	4,324,000	4,263,000	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	17,725,556	14,208,269	15,282,959	17,428,800	13,840,930	0
執 行 率	86.0	86.1	86.4	77.0	92.9	0.0
（人件費）						
職 員 数	3.31	3.15	2.15	1.62	2.22	0.00
職 員 人 件 費	26,449,410	23,983,328	16,751,172	12,623,855	17,053,205	0
嘱 託 員 数	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00
嘱 託 員 人 件 費	0	0	3,269,483	3,217,657	3,120,400	0
（間接経費）						
間 接 経 費	315,361	248,590	268,333	191,808	233,917	0
総 コ ス ト	48,624,201	42,681,809	39,866,853	37,786,120	38,511,452	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
① 市民1,000人当たりの公害苦情件数	0.39	実 績	0.39	0.43	0.48	0.33
	件	達成率	84.6	76.7	68.8	100.0
② 騒音・大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合	15.1	実 績	12.5	15.5	12.5	13.5
	%	達成率	108.0	87.1	108.0	102.3
		実 績				
		達成率				
		実 績				
		達成率				
		実 績				
		達成率				
		実 績				
		達成率				

指標の分析

指標2については目標を達成できている。指標1については工場、指定作業場からの公害に関する苦情は減少しているが、近隣関係の相談が増加しており、生活の多様化や地域コミュニティの希薄化が一因と思われ、環境部門のみの対応の困難さを感じている。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	目標達成に向け順調に進ちょくしている
達成できている点	・各種項目における計画的な測定の実施	・各種項目における計画的な測定の実施	・各種項目における計画的な測定の実施	・各種項目における計画的な測定の実施
達成できていない点	・苦情処理における根本的な解決	・苦情処理における根本的な解決	・苦情処理における根本的な解決。ただし、一部内容については解決に向けた専門員を配置し、対応を図る	・一部の苦情処理における根本的な解決。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果 主な取組として、騒音・振動測定、大気常時監視・測定調査、ダイオキシン類調査を実施している。その他、水質調査や公害相談受付を中心に、工場認可申請や特定建設作業の届出、開発行為や中高層の事前協議などの際に公害発生の未然防止のために業者への指導を行っている。 東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、市内のプール水、地下水の放射性物質や小学校等の空間放射線量、土壌の放射性物質の調査分析を実施した。また、環境保全活動センターで空間放射線量測定器の貸出を行った。プール水の測定は平成26年度を以って休止、小学校での空間放射線量測定は平成27年度から、毎日22校を週1回1校に変更した。「電気用品安全法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」「ガス事業法」に基づく電気用品等適正表示の調査は経済観光課に事務移管した。 これらの成果を「府中の環境」として冊子を作成し、市民へ公表した。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化 騒音・振動調査や水質汚濁・大気汚染調査などの実施にあたり、国の基準値や都の条例の規制値などの制度改正に注視を要する。また、権限移譲に伴い事務事業が増加している。 苦情については、迅速な対応が求められるが、生活騒音など近隣間での苦情相談が増加しており、解決が困難な事例への対応が課題である。事務が広範囲にわたり、苦情も複雑化するなかで、職員の専門知識の蓄積やコミュニティの希薄化が課題となっている。
今後の展開 公害問題は、予測困難な新たな問題が発生することもあることから、日ごろから環境の監視体制を強化するとともに、事業者等に対する公害発生防止のための指導や支援、情報提供が必要であり、公害の苦情体制の充実、国や都など関係機関との連携により、新たな公害にも迅速に対応できるようにしていく。また、職員の経験不足を補うため、専門員の配置を進めた。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
公害防止指導対策事業	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調
	所管部署			
	生活環境部 環境政策課			
	事業種別			
	主要な事務事業			
4か年事業費計(単位:千円)				
68,420				
環境衛生分析調査事業	計画的な環境測定の実施。	計画的な環境測定の実施。	計画的な環境測定の実施。	計画的な環境測定の実施。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
	所管部署			
	生活環境部 環境政策課			
	事業種別			
	主要な事務事業			
4か年事業費計(単位:千円)				
42,240				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	事業種別			
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名		事業種別	人件費事業	H29年度		H30年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
				当初予算額	決算額				
1	公害防止指導対策事業	20		16,465,000	15,546,868	14,924,000	苦情処理、大気常時監視、騒音・振動測定などの公害防止指導対策	B	1
2	環境衛生分析調査事業	20		3,080,000	2,557,062	3,519,000	大気や水質、地下水、土壌汚染、放射性物質などの汚染状況の調査及び汚染防止対策	B	1
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合 計				19,545,000	18,103,930	18,443,000			

施策評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 施策の名称・めざす姿

施 策 名	032	斎場・墓地の管理運営				
総 合 計 画	基本目標	Ⅱ	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）		主 担 当 部 課 名	生活環境部 住宅勤労課
	基本施策	03	生活環境の保全			
め ざ す 姿	府中の森市民聖苑が安定的・効率的に運営され、市民が葬儀等をつつがなく執り行うことができています。 また、稲城市と共同して墓地及びメモリアルホールを整備し、安定的かつ永続性の高い公営の墓地を求める市民の需要に応じています。					

2 事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当 初 予 算 額	262,441,000	436,255,000	287,475,000	264,641,000	252,246,000	228,553,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	100,000,000	0	28,000,000	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	81,019,000	82,833,000	81,526,000	80,995,000	80,066,000	79,072,000
一 般 財 源	181,422,000	253,422,000	205,949,000	155,646,000	172,180,000	149,481,000
予 算 現 額	262,341,000	431,738,000	287,220,000	269,960,000	252,246,000	0
決 算 額	254,887,918	428,571,123	275,545,470	265,112,730	249,236,982	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	21,500,000	26,900,000	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	81,928,672	77,860,546	77,324,212	78,372,281	76,801,367	0
一 般 財 源	172,959,246	350,710,577	198,221,258	165,240,449	145,535,615	0
執 行 率	97.2	99.3	95.9	98.2	98.8	0.0
（人件費）						
職 員 数	6.78	6.78	5.78	6.77	6.45	0.00
職 員 人 件 費	54,188,255	51,621,259	45,033,385	52,755,245	49,546,475	0
嘱 託 員 数	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
嘱 託 員 人 件 費	0	0	3,269,483	0	0	0
（間接経費）						
間 接 経 費	1,066,120	1,367,186	1,340,392	1,169,938	816,621	0
総 コ ス ト	310,142,293	481,559,568	325,188,730	319,037,913	299,600,078	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
① 斎場待ち日数	8	実 績	12	9	11	14	8
	日	達成率	66.7	88.9	72.7	57.1	
② 芝生墓地・普通墓地の供給状況	-	実 績	-	9.9	30.4	40.5	50.6
	%	達成率	0.0	19.6	60.1	80.0	
③ 合葬式墓地・樹林式墓地の供給状況	-	実 績	-	3.9	10.8	13.9	19.9
	%	達成率	0.0	19.6	54.3	69.8	
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					

指標の分析

待ち日数の基準値を8日としているが、利用が集中する場合があります、休館日・火葬無し日と重なると待ち日数が基準値を上回ってしまい、ここ数年こうした状況が続いている。平成29年度は、内壁改修工事に伴い式場を一部閉鎖したため、待ち日数が増加した。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調
達成できている点	府中の森市民聖苑の経年劣化の状況は概ね把握しており、予算の範囲内で計画的に改修補修等行っている。	府中の森市民聖苑の経年劣化の状況は概ね把握しており、予算の範囲内で計画的に改修補修等行っている。	府中の森市民聖苑の経年劣化の状況は概ね把握しており、予算の範囲内で計画的に改修補修等行っている。 稲城・府中墓苑組合が実施する墓地使用者募集等に、組織団体として協力・支援した。	府中の森市民聖苑施設の経年劣化に伴う内壁改修工事を行った。 稲城・府中墓苑組合が実施する墓地使用者募集等に、組織団体として協力・支援した。
達成できていない点	府中の森市民聖苑については、斎場という施設の特性上、一部の経年劣化に対しては早急な対応がとれていない部分がある。	府中の森市民聖苑については、斎場という施設の特性上、一部の経年劣化に対しては早急な対応がとれていない部分がある。	府中の森市民聖苑については、斎場という施設の特性上、一部の経年劣化に対しては早急な対応がとれていない部分がある。	府中の森市民聖苑については、斎場という施設の特性上、一部の経年劣化に対しては早急な対応がとれていない部分がある。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
1 斎場 斎場の効率的運営を図り、通夜待ち日数を減少させるため、平成20年度に第4式場を開設するとともに友引の日の営業も開始した。また、耐用年数の迫っている火葬炉の改修に備えて、平成20年度に火葬炉2基を増設した。平成25年度は中央監視システムの更新をはじめ、照明制御主操作盤取替、火葬炉主燃炉修繕、厨房の機器ら設備及び排水設備の修繕、据置鉛蓄電池交換修繕、屋上床タイル目地補修などを行い経年劣化対策を講じた。また、施設内料理店、売店の選定（5年毎）を実施した。平成26年度、屋上塗装改修工事をはじめ祭壇洗浄等実施した。平成27年度、内壁タイル剥離か所の除去等緊急措置、側溝交換修繕、車止め交換修繕等実施、また法要和室の椅子席化を図った。平成28・29年度、内壁改修工事を実施した。 2 墓地 稲城市と共同して平成24年5月に稲城・府中墓苑組合を設立し、組合を事業主体として、平成25年3月に稲城市の南山東部土地区画整理事業地内に墓苑用地を取得後、平成27年8月までに全ての整備工事が完了し、平成27年度から本市が関わる初の公営墓地として市民に供給を開始した。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
1 斎場 高齢化とともに高まるニーズに応え、待ち日数減少を含めた施設利用の利便性を高めていくこと。また、開設後20年が経過する中で、円滑な施設運営を図るため、経年劣化等による施設・設備の点検等を強化継続し、必要な改修、修繕等を行っていく。 2 墓地 施設の供用開始後の安定した管理運営を実現するため、引き続き組合と組織団体である本市及び稲城市の3者で緊密に連携・協議を行っていく。
今後の展開
1 斎場 高齢化等社会ニーズの変化に応え、運営・設備等必要な見直しを行い、施設の利便性の向上を図っていく。また、円滑な運営を図るため、施設・設備の劣化状況を的確に把握し必要な手立てを講じていく。 2 墓地 組合の墓苑の供給計画の着実な推進による安定的な財政運営及び管理運営が図られるよう、組織団体として引き続き、積極的に協力・支援を行っていく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4 か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
府中の森市民聖苑管理運営事業	屋上塗装改修工事 式場祭壇洗浄 火葬炉（5・6号炉）煉瓦交換修繕 友引日営業等により待ち日数の減少に努める。 施設・設備の点検を強化し、施設機能の維持に努める。 施設・設備（火葬炉含む）修繕	友引日営業等により待ち日数の減少に努める。 施設・設備の点検を強化し、施設機能の維持に努める。 施設利用の利便性向上に努める。 施設・設備（火葬炉含む）修繕。	友引日営業等により待ち日数の減少に努める。 施設・設備の点検を強化し、施設機能の維持に努める。 施設利用の利便性向上に努める。 施設・設備（火葬炉含む）修繕。	友引日営業等により待ち日数の減少に努める。 施設・設備の点検を強化し、施設機能の維持に努める。 施設利用の利便性向上に努める。 施設・設備（火葬炉含む）修繕。
所管部署	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調
生活環境部 住宅勤務課	塗装改修工事等予算計上案件は順調に執行。 待ち日数では、集中的に利用が増え目標は達成できなかった。 修繕等については、予算の範囲内で対応した。	待ち日数では、利用が集中する場合あり、目標には届かなかった。 利用者の利便性では、畳敷き法要和室を椅子席とし、高齢化にも配慮した。 修繕等は、予算の範囲内で対応した。	友引日営業等により待ち日数の減少に努める。 施設・設備の点検を強化し、施設機能の維持に努める。 施設利用の利便性向上に努める。 施設・設備（火葬炉含む）修繕。	内壁工事で第1・2・4式場を約2か月間閉鎖したが、その間、火葬炉すべて活用できたことから順調に進めることができた。待ち日数については、工事に伴い増加した。
事業種別				
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)				
797,460				
市民墓地整備・管理運営事業			稲城・府中墓苑組合の運営等について組合組織団体運営協議会において協議するほか、組合が実施する墓地の使用者募集事務について、広報ふちゅうや市ホームページへの掲載、パンフレットの配布などにより市民へ周知するなど、組織団体として組合への協力・支援を行う。	稲城・府中墓苑組合の運営等について組合組織団体運営協議会において協議するほか、組合が実施する墓地の使用者募集事務について、広報ふちゅうや市ホームページへの掲載、パンフレットの配布などにより市民へ周知するなど、組織団体として組合への協力・支援を行う。
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調
生活環境部 住宅勤務課			稲城・府中墓苑組合の運営等について組合組織団体運営協議会において協議した。組合が実施する墓地の使用者募集事務について、広報ふちゅうや市ホームページへの掲載、パンフレットの配布などにより市民へ周知するなど、組織団体として組合への協力・支援を行った。	稲城・府中墓苑組合の運営や墓地の使用者募集等について、組合組織団体として連携・支援した。墓地の供給について、芝生墓地及び合葬式墓地に残が生じた。
事業種別				
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)				
261,000				
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
4 か年事業費計(単位:千円)				

※4 か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名		事業種別	人件費事業	H29年度		H30年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
				当初予算額	決算額				
1	府中の森市民聖苑管理運営事業	30		240,995,000	237,985,982	215,482,000	市民が安心して葬儀等行なえる市民斎場を管理運営する事業	B	1
2	市民墓地整備・管理運営事業	20		11,251,000	11,251,000	13,071,000	市民墓地の整備	B	1
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合 計				252,246,000	249,236,982	228,553,000			